

古文書講座

テーマ
編

定員：各回50人

定員を超えた場合は抽選
(3回連続で参加できる方を優先します)

第1回
令和7年

3月2日(日)

講師：三野 行徳 氏
(昭和女子大学専任講師)

御門訴事件と国分寺の村々

時間：

各日14時～16時

古文書から読み解く 国分寺の歴史

会場：本多公民館 視聴覚室

第2回
令和7年

3月9日(日)

講師：工藤 航平 氏
(国立歴史民俗博物館研究部
歴史研究系准教授)

国分寺市域の庶民文化を読み解く

第3回
令和7年

3月16日(日)

講師：山崎 久登 氏
(東京都立砂川高等学校教諭)

国分寺の鷹場史料を読む

申込：2月20日(木)まで 右記二次元コードよりお申込みください

主催：国分寺市教育委員会 市史編さん室



講座内容の詳細は裏面へ

古文書 講座

テーマ
編

古文書から読み解く 国分寺の歴史

講座内容

新たな市史の執筆を担う市史編さん推進委員会専門部会員の3名を講師に迎え、市内に現存する古文書から江戸時代や明治時代の国分寺市域を読み解きます。

【第1回】御門訴事件と国分寺の村々

講師：三野 行徳 氏（昭和女子大学専任講師）

明治初年の武蔵野新田地域は、新たな負担をめぐって新政府一品川県と激しく衝突します。御門訴事件と呼ばれるこの出来事は、多摩の村々に大きな衝撃を与えました。国分寺の武蔵野新田に残された史料を解読し、かつて国分寺の村々が体験した明治維新の影響について考えましょう。

3/sun
2

【第2回】国分寺市域の庶民文化を読み解く

講師：工藤 航平 氏（国立歴史民俗博物館研究部歴史研究系准教授）

国分寺市域では、特に江戸時代になると、庶民による文化活動が盛んになります。江戸や八王子など都市部の文人らの影響を受けつつも、この地域独自の文化活動を生み出していきます。地域に残された史料をもとに、国分寺市域の庶民文化について読み解いていきます。

3/sun
9

【第3回】国分寺の鷹場史料を読む

講師：山崎 久登 氏（東京都立砂川高等学校教諭、徳川林政史研究所特任研究員）

国分寺市をはじめとする武蔵野新田は、寛延元年（1748）に尾張藩の鷹場に編入されました。現在、国分寺市にはこの鷹場に関わる史料が数多く残されています。本講座では、その代表的な史料を読み解き、鷹場が国分寺の人々にとってどのような存在であったかを見ていきます。

3/sun
16

お問い合わせ

国分寺市教育委員会市史編さん室

国分寺市光町1-46-8

ひかりプラザ5階

☎042-571-7815

対象：どなたでもお申し込みいただけますが、定員を超えた場合は3回連続でご参加いただける方を優先します。

場所：本多公民館 視聴覚室

（国分寺市本多1-7-1 / JR・西武線国分寺駅北口から徒歩8分）

ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

申込：表面二次元コードを読み取っていただき、必要事項をご入力ください。